



丹波県民局

令和8年1月29日（木）  
県民躍動室地域共創課

## 令和7年度丹波すぐもの大賞-TAMBA INNOVATION AWARD- 受賞者の決定

丹波県民局では、地元企業の優れた企画・技術力を広くアピールし、地域の産業を活性化するため、地域発イノベーションを推進する革新的で高い技術力による製商品の製造や、地域資源を観光・交流につなげる事業やイベントを行う企業や団体等を「丹波すぐもの大賞 - TAMBA INNOVATION AWARD -」として、表彰しています。

今年度、3部門13件の応募の中から、7件を大賞に決定しました。



丹波すぐもの大賞  
TAMBA INNOVATION AWARD

### 1 受賞概要（計7件）

○きらめき/フューチャー・イノベーション（製商品）部門

【革新的で高い技術により開発された製商品】

受賞者/受賞製商品	概 要
株式会社タケウチ未来製工 (丹波市)	<b>【廃材再利用で環境に配慮した、 軽量で扱いやすい防災用土のう】</b> 耐久性に優れ何度も再使用(reuse)でき、縫製工場で発生する端切れを再利用(recycle)して廃棄物を減らす(reduce)、「環境配慮型防災用土のう」です。充填済みで災害発生時に即座に使用でき、軽量で誰でも扱いやすく、迅速な水害対策と防災力向上に貢献します。
ecoリサイクル土のう ミライエ	<b>【突然の水害時にも約1分で 救命胴衣に変形する通勤通学バッグ】</b> フェーズフリーの考え方に基づいて製作した防災バッグです。普段は通勤通学バッグとして使いながら、万一の水害時には救命胴衣同様、しっかりと身体に固定できる浮力体・緩衝体としてあなたの頼もしい味方となります。
マルスバッグ Maru Su Bags (丹波市)	<b>【突然の水害時にも約1分で 救命胴衣に変形する通勤通学バッグ】</b> フェーズフリーの考え方に基づいて製作した防災バッグです。普段は通勤通学バッグとして使いながら、万一の水害時には救命胴衣同様、しっかりと身体に固定できる浮力体・緩衝体としてあなたの頼もしい味方となります。
LIFE BOX (ライフボックス)	<b>【丹波篠山の植物、そのままの化粧水】</b> 丹波篠山市の自社畑や山で栽培・採取したハーブや樹木を水蒸気蒸留し、芳香蒸留水100%のみを充填した、無添加で肌にやさしい化粧水。
株式会社ささやまビーフアーム (丹波篠山市)	<b>【丹波篠山の植物、そのままの化粧水】</b> 丹波篠山市の自社畑や山で栽培・採取したハーブや樹木を水蒸気蒸留し、芳香蒸留水100%のみを充填した、無添加で肌にやさしい化粧水。
篠山精油ハーブウォーター	<b>【丹波篠山の植物、そのままの化粧水】</b> 丹波篠山市の自社畑や山で栽培・採取したハーブや樹木を水蒸気蒸留し、芳香蒸留水100%のみを充填した、無添加で肌にやさしい化粧水。

## ○わくわく/フード・イノベーション（食料品）部門

### 【丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品】

受賞者/受賞食料品	概要	
株式会社やながわ (丹波市)	<b>【世界に誇る「丹波栗」を活かす知恵と技。 プレミアム 丹波栗のマロングラッセ】</b> 丹波栗の特大渋皮煮をマロングラッセに加工しました。『和栗の最高峰「丹波栗」のブランド価値と加工技術で世界へ』をコンセプトに商品化したものです。新たなマーケットを切り拓く切り札となると期待しています。	
プレミアム 丹波栗の マロングラッセ		

## ○ときめき/ソーシャル・イノベーション（観光・交流）部門

### 【地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベント】

受賞者/受賞事業・イベント	概要	
クロスポートジャパン 一般社団法人 X-PORT JAPAN (丹波市)	<b>【アウトドアで交流を生みだす ソーシャルイノベーション拠点】</b> 養鶏場跡を再生した一日一組限定の会員制キャンプ場。キャンプ場作りを通して都市と地域の多様な人材が集まり「共創」によるプロセスから関係人口の創出、移住、施設誘致を実現。休耕地・空き家等を活用し、多世代の交流を創出し、地域経済の起点を作り続けています。	
みんなでつくる秘密基地 Dinosaur Base Project (ダイナソーベースプロジェクト)		
株式会社カケルタンバ (丹波市)	<b>【創作と滞在が一体化した “撮れる古民家ゲストハウス”】</b> 丹波篠山市の築 180 年の古民家を活用した、コスプレや創作活動にも対応する体験型ゲストハウス。森や神社など地域資源と連携し、滞在そのものが表現や交流につながる場を提供しています。	
『撮れる』古民家ゲストハウス Mashiro		
アゼ 一般社団法人 AZE (丹波篠山市)	<b>【田んぼづくりからお酒まではぐくみ、 里山を未来へつなぐ】</b> 手植え、手刈り、天日干し、クワを使った農作業、お酒の名前まで、地域内外の参加者とともに 1 年かけて日本酒をつくるプロジェクト。米作りにも酒造りにも大切な「水」の源である「里山」に触れ、学び、ともに創造していきます。	
ミチのムコウ 「100 人ではぐくむ 名前はまだ無い日本酒」		

## 2 表彰式等の実施

次のとおり表彰式を開催し、表彰楯を贈呈します。  
表彰式終了後、商品のお披露目をいたします。

日 時：令和8年2月3日（火）14：00～15：10  
場 所：たんば黎明館 2階 多目的ホール  
(丹波市柏原町柏原688-3)



(参考)過去のお披露目

また、パンフレットの作成及び配布（3月下旬予定）、県民だよりひょうごでのPRなど積極的に地域内外へ発信します。さらにシリ丹バレー推進協議会を通じて、各種イベントへの出展支援など地域発のイノベーションを推進します。

発表者名 (担当者名)	連絡先電話番号
県民躍動室たんば共創参事 宇瀧 広子 班長（大丹波連携・観光担当） 鈴木 順子	0795-73-3784